

明倫の里 城北

# 未来へ向けたまちづくり

II



---

明倫の里 未来へ向けたまちづくり

平成27年 3月発行

発行 明倫の里 城北

城北コミュニティセンター内

〒763-0014 香川県丸亀市御供所町1-5-20

TEL・FAX (0877) 25-2141

---

城北コミュニティ



## はじめに

日本社会の中で少子高齢化が進んでおり、城北地区でも65歳以上が全地区人口の3割近くを占め、人口は減少の一途をたどっています。日本全体の大きな問題になってきている高齢化社会が一足早く、我がまちも進んでいます。このような状況の中、今、国の最重要施策のひとつに掲げられている〈地方創生〉を推し進めて行くため、一番必要なことは、そこに暮らす私たちが「地域力」を発揮し、城北地区全体を活性化することではないでしょうか。「コミュニティの更なる発展」は、地域に元気を与える大きな柱と思います。

城北コミュニティ「明倫の里 城北」では、「城北地区住民の自主性を尊重し、信頼に基づく生活共同体として、快適で安全な環境、健康で文化的な潤いあるまちづくりを進める」を目的に、平成23年5月、「まちづくり5か年計画」を策定し、具体化な取り組みを進推して参りました。今回、城北地区をより住みよいまちにするため、平成27年度をスタートとする「新たなまちづくり5か年計画」を作りました。先の5年間の実践状況を踏まえ、継続できるところは継続し、見直すべき事業は見直し、「笑顔であいさつの出来るまち」「楽しさあふれ、一緒に手を取り合って助け合いながら前へ向いて歩けるまち」「誰もが住みたくなるまち」を目指し、一人でも多くの皆さんと協力しながら、コミュニティ活動に取り組んでいきます。各部会では、それぞれの目標や具体的な活動方針を皆様に示し、参加を呼び掛けています。コミュニティ活動は、地域住民皆様のご理解がなければ前に進むことはできません。重ねてご協力をよろしくお願いいたします。

- 《活動目標》
1. 社会福祉の充実
  2. 防災・安全などの安全・安心のまちづくり
  3. 環境美化への意識向上
  4. 健康づくり運動の推進
  5. 教育文化活動と生涯学習の推進
  6. 健全な青少年育成や幼児教育の推進
  7. 生活改善及び保健栄養意識の向上と健康相談の促進
  8. 自治会の加入推進と連携強化
  9. 関係機関との連絡調整並びに協力
  10. 城北コミュニティの目標達成に必要な事業の実施

明倫の里 城北  
会長 鈴木 巖



# 明倫の里 城北

城北コミュニティは「明倫の里 城北」が正式名称です。丸亀藩5代藩主・京極高中公が藩校正明館に与えた自筆の「明倫」



明倫の額

の扁額が城北小学校に伝えられ、コミュニティの扁額に由来しています。明治初めの丸亀には風袋町の「敬止堂」をはじめ、私塾や寺子屋などが二十数校があったといわれます。約10校が、この地域にあり、藩政時代から明治時代まで城北地区が「明倫の里」だったことが分かります。私たちはこの伝統を受け継ぎ、次代に引き継がなければなりません。

「明倫」とは、孟子の滕分公章句にある言葉で、「人間として成長するには先ず教育が大切であり、そのために学校を設け、人倫を明らかにして学ぶことが肝要」との意味です。「明倫」の扁額は正明館、明倫館を経て丸亀郷校、第一小学校、亀湾小学校、そして城北小学校に受け継がれてきました。平成27年3月、新しい校舎が完成しましたが、「明倫」の精神は今も同校に掲げられ、子どもたちの健やかな成長を見守っています。

この精神が次の世代、その次の世代の児童の心に生き続けることを願わずにはられません。そんな子どもたちの安全安心な学校生活を、私たち大人がサポートしていきたいと思います。「城北地区で生まれ、育ってよかった」。将来にわたって、みんなの明るい笑顔に出会えることが、城北地区に住む私たちの願いではないでしょうか。



「明倫の里 城北」の看板



## 城北コミュニティ「明倫の里 城北」

### I 概要

城北地区の歩み・戦後の出来事	6
人口構成と人口動態	8
事業所数と従業員数	9

## 城北コミュニティ「明倫の里 城北」

### II まちづくりのプラン

#### 各分科会のまちづくり実行計画

【総務分科会】地域住民との「ふれあい」及び「活性化」	12
【環境分科会】ごみ不法投棄ゼロと子どもと地域の安全力向上	14
【福祉分科会】「安全に、安心して、幸せに」暮らせる地域づくり	16
【保健分科会】健やかな心とからだでいきいき生活を	18
【文化分科会】いきいきとした健康体づくりと文化力の向上	20
【広報分科会】情報社会に沿った地域の人々への伝達	22
【体育分科会】運動やスポーツで育む「豊かな心」と「元気な身体」	24
【危機管理分科会】地域住民の災害に対する「危機意識」の高揚	26
【城北婦人会】婦人の和と輪を大切に地域の活性化を図る	28
【城北老人クラブ連合会】成熟する高齢化社会を支える地域活動	29
城北地区まちづくり計画Ⅱ策定委員会組織図	30
城北地区まちづくり計画Ⅱ策定担当者	31
コミュニティ「明倫の里 城北」構成団体	32

城北コミュニティ「明倫の里 城北」  
概 要



## 城北地区の歩み・戦後の出来事

西暦	年号	
1945年	昭和20年	終戦（8月）  旧西練兵場で兵器等の処理中に爆発事故。1人死亡、十数人負傷。土居町や風袋町、葭町、瓦町などで爆風被害（11月）  現在の城東町にあった旧東練兵場で開墾始まる
1946年	昭和21年	米屋町の商工会館に四国地方商工局（現四国経済産業局）誘致（6月）
1947年	昭和22年	消防団誕生（8月）
1949年	昭和24年	土器川河口近くに国道11号線の蓬萊橋開通（6月）
1950年	昭和25年	金子正則氏（城北小学校卒）知事に就任。6期24年間、県政のトップとして香川の発展に尽くす（9月）
1951年	昭和26年	東中学校開校（4月）
1952年	昭和27年	平山保育所開設（4月）  丸亀競艇場でボートレース開始（10月）
1953年	昭和28年	土居保育所開設（10月）
1955年	昭和30年	城北幼稚園が東幼稚園分園を経て開園（3月）
1956年	昭和31年	香川労災病院が診療開始（4月）
1959年	昭和34年	丸亀税務署（御供所町）が大手町の現庁舎に移転（4月）
1963年	昭和38年	琴参電車が廃止。土居町の坂出線・渡場駅も役目終える（9月）
1964年	昭和39年	丸亀市内の電話がダイヤル式に変換（10月）
1966年	昭和41年	琴参電車軌道跡を利用、蓬萊橋が県内で初めて4車線の複線橋に（9月）
1968年	昭和43年	予讃線高松～多度津間の無煙化で蒸気機関車姿消す（4月）  2級河川の土器川が国管理の1級河川に（4月）
1972年	昭和47年	城北地区でも都市ガス供給エリア拡大
1978年	昭和53年	「東汐入川緑道公園」開園（3月）  土器川潮止せき完成（3月）



城東町開墾地での田植に



廃止を前に全線で走った琴参の電車

西暦	年号	
1984年	昭和59年	県立丸亀病院が北平山町から土器町へ移転（2月）  京極通りが県道33号高松善通寺線に（4月）  県道と市道交換でフェリー通りが県道丸亀港線、県道通町線は市道に（4月）
1987年	昭和62年	城北小学校創立100周年記念式典（5月）
1988年	昭和63年	新丸亀駅開業（3月）  瀬戸大橋開通（4月）  さぬき浜街道が暫定2車線で全線供用開始（11月）
1989年	平成元年	CVC中讃ケーブルビジョンが放送開始（11月）
1991年	平成3年	城北地区の下水道整備完成（3月）  猪熊弦一郎画伯の画業をたたえ、地域の美術振興などを目的に、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館（11月）
1993年	平成5年	予讃線高松～多度津間複線電化。丸亀駅周辺高架事業で城北地区の全踏切撤去（9月）
1995年	平成7年	阪神淡路大震災発生。丸亀は震度3（1月）
1998年	平成10年	城北コミュニティ発足（5月）
1999年	平成11年	城北コミュニティセンター開設（10月）  市内最後の映画館「丸亀東映」閉館
2004年	平成16年	台風16号による高潮で富士見町、御供所町で住宅など浸水（8月）
2005年	平成17年	丸亀・飯山・綾歌の1市2町が合併し、新丸亀市誕生（3月）
2007年	平成19年	丸亀市消防団第1分団屯所、瓦町から御供所町に新築移転（4月）
2008年	平成20年	ファミリーマート土居町店オープン。城北地区のコンビニ第1号（8月）
2009年	平成21年	丸亀競艇「ブルーナイター」スタート。中四国の公営競技場初の夜間開催（4月）
2014年	平成26年	さぬき浜街道土器川大橋西詰～港町間の4車線化が完成（3月）
2015年	平成27年	城北小学校新校舎完成（3月）



旧丸亀駅舎

## 人口構成及び人口動態

平成27年1月1日現在の住民基本台帳による丸亀市全体の総人口は、平成22年1月1日の11万2004人から1477人増えて11万3481人となっています。その一方で、城北地区は7163人から448人減少しており、市中心部や周辺地域で人口空洞化がさらに進んでいることを示しています。

世帯数を見ると、市全体では、平成22年の4万5578世帯から平成27年に2877世帯増えて4万8455世帯で、城北地区では、3368世帯から53世帯少ない3315世帯に減っています。戦後世代の典型であった夫婦と子どもという家族構成が崩れ、子ども世代の地区外流出に伴う夫婦のみの世帯が増え、親

世代の高齢化や独居化（単身化）、さらに介護施設への転居などで空き家や空き地が目立っています。

世代別の人口構成比は、昭和22～24年生まれを中心とした団塊世代が65歳以上の高齢者となり、市全体で22.3%（平成22年1月1日）から25.6%（平成27年1月1日）に増えています。城北地区は市の平均を上回り、26.9%から4ポイント上がって30.9%になっています。逆に14歳以下の年少人口は13.2%（市全体15.0%）から11.4%（14.3%）に減少しており、年々進む少子高齢化への対応が、地域にとって今後の大きな課題になりそうです。

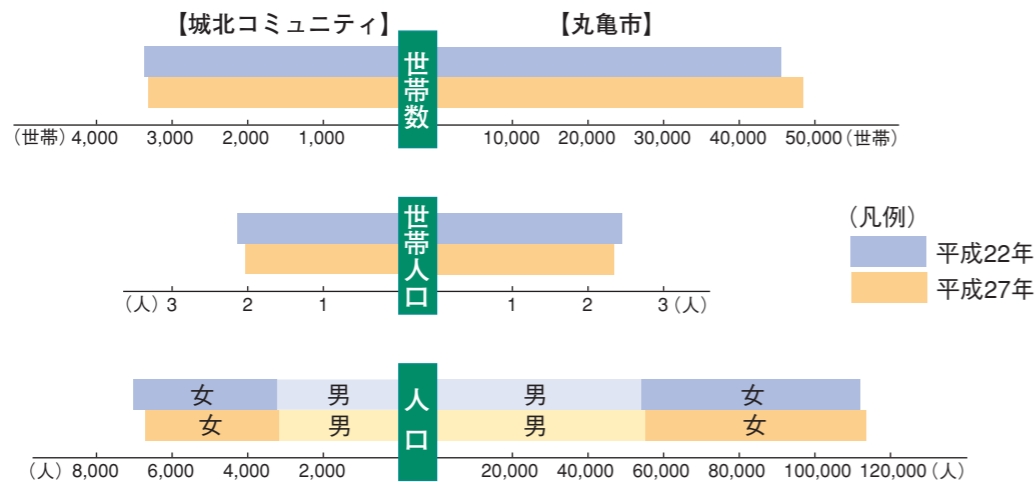
### ●世帯数と人口

#### 城北コミュニティ

	世帯数	世帯人口	人口	男	女
平成22年	3,368	2.13	7,163	3,354	3,809
平成27年	3,315	2.03	6,715	3,190	3,525
対比	△53	△0.1	△448	△164	△284

#### 丸亀市

	世帯数	世帯人口	人口	男	女
平成22年	45,578	2.46	112,004	54,237	57,767
平成27年	48,455	2.34	113,481	55,173	58,308
対比	2,877	△0.12	1,477	936	541



## 事業所数と従業員数

城北地区の産業別事業所数・従業員数（平成24年経済センサス基礎調査）をみると、事業所数は376事業所（市全体の8.45%）で、最も多いのが卸売・小売業の97事業所（同8.04%）。次いで宿泊・飲食サービス業50事業所（同8.31%）▽その他サービス業35事業所（同11.78%）▽不動産業・物品賃貸業34事業所（同13.49%）▽学術研究・専門技術サービス業29事業所（同16.20%）▽生活関連サービス・娯楽業26事業所（同6.19%）——の順です。

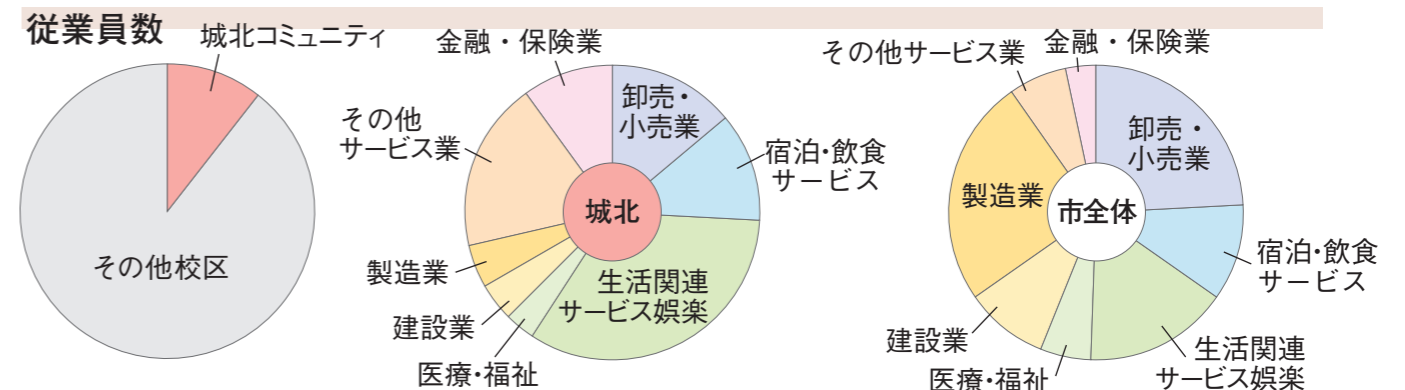
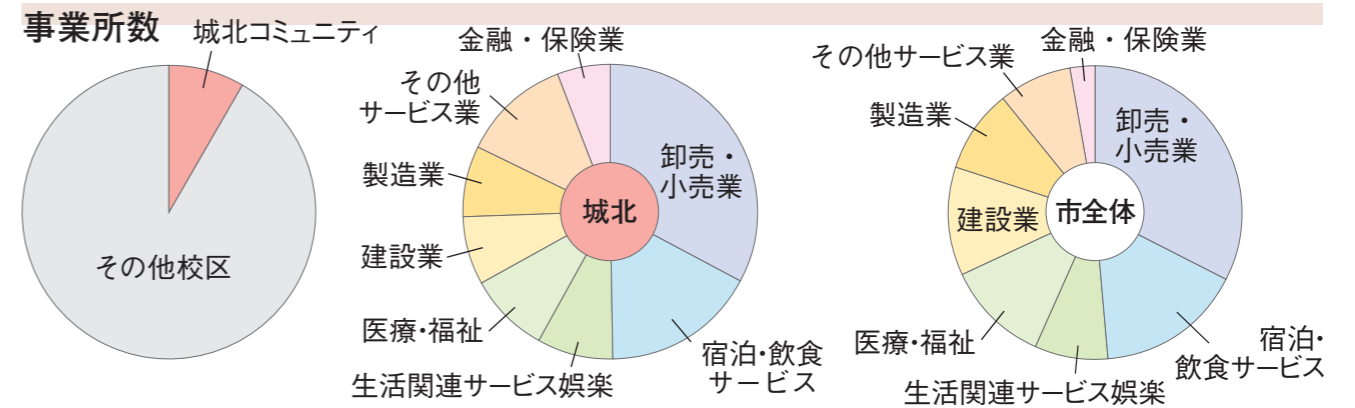
地区全体の従業員数は3178人（同7.86%）で、医療・福祉が928人（同16.71%）

と圧倒的に多く、その他サービス業520人（同22.98%）▽卸売・小売業389人（同4.56%）▽宿泊・飲食サービス業328人（同8.81%）▽金融・保険業272人（同25.23人）——の順でした。

市全体の事業所数は、卸売・小売業1207事業所▽宿泊・飲食サービス業602事業所▽建設業441事業所▽生活関連サービス・娯楽業420事業所▽製造業342事業所——の順です。従業員数は製造業が8789人でトップ。次いで卸売・小売業8533人、医療・福祉5553人、宿泊・飲食サービス業3724人、建設業3254人——などが続いています。

### ●主な産業別事業所数・従業員数（平成24年経済センサス基礎調査）

	卸売・小売業	宿泊・飲食サービス	医療・福祉	生活関連サービス娯楽	建設業	製造業	その他サービス業	金融・保険業
事業所数	城北地区 97	50	25	26	22	23	35	17
	市全体 1,207	602	295	420	441	342	297	98
従業員数(人)	城北地区 389	328	928	90	113	130	520	272
	市全体 8,533	3,724	5,553	1,877	3,254	8,789	2,263	1,078





城北コミュニティ「明倫の里 城北」  
まちづくりのプラン

## 地域住民との「ふれあい」及び「活性化」

### 総務分科会

「城北ほくほくふれあいまつり」と「城北明倫まつり」を総務部会の活動重点施策と位置付け、地域あげての一大イベントとして取り組んでいます。地域住民との「ふれあい」と「活性化」を図ります。少子高齢化に対応する「高齢者」や「子どもたち」とのふれあいを深め、「若年層」の住民とも交流する「人と人のふれあい」を大切にします。

### (1) 地域掲示板の設置

#### ①現状

- \* 44自治会で掲示板を設置している所は少数です。(現在は6か所、設置率13.6%)
- \* コミュニティからの情報は広報紙や回覧板等で伝達しています。
- \* 住民への情報提供や相互の連絡は有効で良好な地域社会の形成に不可欠です。
- \* 災害が発生した時には、重要な伝達方法のひとつになります。



掲示板

#### ②今後の取り組み

- \* 自治会単位で設置の有無を調査し、連合自治会総会等で協力を要請します。
- \* イベントや災害に関する情報は必要不可欠です。住民と市との情報の共有を図ります。
- \* 市が発信する各種の情報を地域住民に広く周知していきます。

### (2) コミュニティの持続性を確保



第13回ほくほくふれあいまつり

#### ①現状

- \* 我が国は超高齢化社会を迎え、団塊世代が高齢者人口の5分の1を占めています。
- \* 城北地区も高齢化の進展とともに、地域の担い手不足が指摘されています。
- \* 住民の高齢化によって地域団体が消滅する例も見られます。
- \* コミュニティ役員と小中学校のPTA役員等との連携が十分に取れてない状況です。

#### ②今後の取り組み

- \* 住民一人ひとりが自分の空き時間を有効に活用し、コミュニティ活動や地域イベントに協力できる人を確保します。
- \* まちづくり計画に盛り込んだ活動の役割分担を見直します。
- \* コミュニティ役員とPTA役員等の意見交換会を設けます。
- \* コミュニティの組織として青年部の新設を検討します。

### 【総務分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）			
		現状	27年度	28・29年度	30・31年度
地域住民との「ふれあい」及び「活性化」	地域掲示板設置	6か所	10か所	20か所	30か所
	コミュニティ持続性の確保	コミュニティ役員・PTA役員等との意見交換会 開催0回	→ 開催1回	→ 開催3回	→ 開催5回



全体研修



市長懇談会



## ごみ不法投棄ゼロと子どもと地域の安全力向上

### 環境分科会

環境部は、地域の生活環境全般について考え、実践している部会です。第二次まちづくり計画では、「不法投棄ゼロ化推進」とパトロールを強化した「子どもと地域の安全力向上」を二本柱に掲げました。地域として地球温暖化防止にも取り組んでいきます。

### (1) 「不法投棄ゼロ化推進」

#### ①現状

- \* 環境部会ではこれまで、ごみの不法投棄をなくす活動に取り組んできましたが、残念ながら旧清水川土手の竹やぶや東汐入川など人目につきにくい場所では、現在も常習的な不法投棄が続いています。
- \* 10月第1金曜日に、授業の一環として城北幼稚園児や城北小学校低学年児童と東汐入川緑道公園の清掃活動に取り組んでいます。
- \* 11月第1日曜日に土器川河川敷で、清掃と釣りのマナー向上活動をしています。



環境部会清掃活動

#### ②今後の取り組み

- \* 環境部会員が地区内で見回りを行い、発見した場合は市の環境部に連絡、撤去を依頼します。
- \* 将来自治会を通じ情報の提供を受け市の環境部に連絡撤去活動を推進します。
- \* 東汐入川緑道公園の清掃活動や土器川河川敷での清掃と釣りのマナー向上は継続します。
- \* スイセンなどの植栽による環境良化活動は継続します。
- \* 見回り活動などを継続推進し、地区内のごみの不法投棄ゼロを目指します。

### (2) パトロール隊を組織再整備し、子どもと地域の安全力向上に努めます。

#### ①現状

- \* いろいろな場所で子どもの安全を見守っています。
- \* 若い人の参加が少なく、パトロール隊の存続に危機感をもっています。

#### ②今後の取り組み

- \* 隊員の高齢化により、広範囲を移動しながらのパトロールは年々厳しくなっており、地域全体に呼びかけて若い隊員の確保に努めます。
- \* パトロール隊の事務局を学校に移すことでPTA会員の協力を得やすくなるを考え、パトロール隊とコミュニティ、学校で協議して実現をめざします。
- \* 地球温暖化防止活動の一環として、緑のカーテン作りを推進。「ゴーヤをおいしく食べつく

そう」と題して地域の住民や事業所などに参加を呼びかけ、料理教室と食事会を開催。親睦を深めながら温暖化防止について考え、活動します。

- \* 不法投棄ゼロや安全パトロール、地球温暖化防止の先進地で現地研修します。



防犯パトロール隊との対面式

### 【環境分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	現 状	目 標（具体的施策）		
			27年度	28・29年度	30・31年度
ごみの「不法投棄ゼロ化推進」	不法投棄場所特定など情報収集と地図化	情報の収集ができていない 市環境部とのごみ撤去開始	情報収集計画策定 環境部とごみ撤去	情報提供者確保 聞き取り調査	→
パトロール隊の組織再整備	学校・PTAと活動拠点移動の折衝	三者協議の継続と組織再編内容の検討	若年者名簿作成と協力要請	拠点移動協議の継続と若年層への呼びかけ強化	→
その他の活動	ゴーヤでエコ活動と料理先進地研修	随時実施	8月に実施  研修テーマと場所の検討	→  研修課題の決定と年間実施計画作成	→  研修課題の見直しと実施



城北小学校見学



# 「安全に、安心して、幸せに」暮らせる地域づくり

## 福祉分科会

「地域の方が住み慣れた所で『安全に、安心して、幸せに』暮らせる地域づくり」と、多くの方と協力しながら、様々な知恵を出し合い、活動しています。

### (1) 老人福祉対策

#### ①現状

- \* 城北地区の高齢化率(65歳以上の人口比率)は30・6%(平成26年10月1日現在)で、丸亀市全体の25.4%を大きく上回り、その対策が急務とされています。
- \* 認知症の方や介護が必要とされている方を高齢者の方が介護するケースも増えています。
- \* 福祉部会は平成26年度より「しあわせ講座」を開催し、地域内の諸問題をテーマに、解決に努めています。
- \* 福祉部会員は、介護や認知症の知識を得るため、研修・実践を重ねています。



友愛訪問

#### ②今後の取り組み

- \* 行政や他の組織等との連携を図り、高齢者世帯など支援を必要とされている方の把握に努め、効果的な活動を進めていきます。
- \* 介護コミュニティ事業の一環として、認知症サポーター養成講座を推進し、仲間を増やして地域内の支援体制を強化していきます。
- \* 福祉部だけの活動にこだわらず、城北コミュニティの他部や、他組織との連携も視野に、活動していきます。



井戸端会議

### (2) 障がい者対策

#### ①現状

- \* 情報が全くなく、対応できていない。

#### ②今後の取り組み

- \* 現体制でもできる活動の検討、及び支援体制の構築を図ります。
- \* 障がい者や家族の方との信頼関係を築いていきます。
- \* 行政・各団体との情報交換を進めます。

### (3) 児童福祉対策

#### ①現状

- \* 少子化が進行している中、情報はほとんどなく、主任児童委員の方や他部、他組織の方に頼っているのが現状です。
- \* 特に最近是不審者情報が多く寄せられ、児童を取り巻く環境は悪化し、安全が不安視されており、地域ぐるみの見守りが必要となっています。

#### ②今後の取り組み

- \* 高齢者の方と児童との交流を図ります。
- \* パトロール隊に登録をし、校区内のパトロール、声かけ等を行い、児童の安全を見守っていきます。
- \* 他部との協力を積極的に行い、児童、保護者の方たちの支援に努めます。

### 【福祉分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標(具体的施策)			
		現状	27年度	28・29年度	30・31年度
老人福祉対策	高齢者世帯の支援 認知症の方がいる家庭への支援 介護コミュニティ事業の推進	情報少なく活動不足 情報少なく活動不足 事業として対応できていない	情報入手により活動活発化 行政、他組織と連携し実態把握へ 福祉部主体でサポーター養成促進	→ 実態把握し支援開始 研修・実践重ね地域の関心高める	→ → 活動定着化と内容の充実を図る
障がい者福祉対策	支援体制の構築	実態把握が不十分	行政、各団体と連携した情報収集 家族と信頼関係を築く	支援体制を確立し、順次支援開始	→
児童福祉対策	高齢者と児童との交流 パトロール隊に登録し、校区内の見守り活動参加 他部との連携による活動	交流していない 一部の方が登録、活動をしている できていない	交流を深めていく 未登録者の登録及び見守り活動実施 必要に応じ他部と連携した活動を実施	→ → →	→ → →



## 健やかな心とからだでいきいき生活を

### 保健分科会

自分や家族の健康に関心を持ち、いきいきと暮らすために三つの目標を定めて活動。近所や知人とのつながりを大切に参加の声かけを行い、地域ぐるみで健康づくりに取り組めるような様々の行事を実施しています。平成27年度から「健康ポイント制度」を導入します。

### (1) 健康に関心を持ち、必要な検診を受け、自分や家族の健康状態の把握 〈各種がん検診や特定健診などの受診、健康相談参加の声かけ〉

- ①現状  
\* 健康教室や愛育だよりで、各種検診など受診の呼びかけ。城北の受診率は全市平均を下回っています。
- ②今後の取り組み  
\* 健康診断の受診や健康教室への参加を呼びかけ、受診率の向上に努めます。

### (2) よい生活習慣を身につける

- 〈料理教室〉
- ①現状  
\* 食生活改善推進員を中心に活動。保健部会は計画作成や参加募集をしています。  
\* 参加者の大半は60歳以上で、若い世代や男性の参加は多くありません。
- ②今後の取り組み  
\* 若い世代や男性にも声をかけ、世代間交流や郷土料理、食育も考えていきます。

### 〈しゃんと体操、玄米ニギニギダンベル体操、健康教室〉

- ①現状  
\* 30名くらい参加していますが、顔ぶれは固定化しつつあり、男性は2名程度です。
- ②今後の取り組み  
\* 男性や幅広い年齢層に声かけをし、一人でも多く参加してもらえるように努めます。



ニギニギダンベル体操

### (3) 家族や地域の人とのつながりを大切に

- 〈すくすくクラブ〉
- ①現状  
\* 乳幼児、妊婦らを対象に開催。母子を中心に10組前後が参加しています。
- ②今後の取り組み  
\* 地域に住む母子に積極的な声かけをして、参加者を増やしていきます。

### 〈愛育班活動〉

- ①現状  
\* 高齢者や男性も入会。毎月1回、愛育だよりを発行し、愛育班行事や保健部会の事業案内をしています。  
\* 自分・家族・地域の方の健康づくりを考えて活動しています。声かけ活動でつながり大切に。
- ②今後の取り組み  
\* 地域全員に愛育会活動を周知し、声かけの輪を広げます。愛育だよりは地域密着の健康情報など発信していきます。



クリスマス会

### 【保健分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）			
		現状	27年度	28・29年度	30・31年度
健やかな心とからだで、いきいきとした生活を送る	各種がん検診や特定健康診査等の受診の声かけ	25年度受診率	声かけ推進	➡	➡
		特 定 25.3%	特 27.0%	特 29.0%	特 31.0%
		肺 が ん 16.4%	肺 18.5%	肺 21.0%	肺 23.0%
		胃 が ん 11.6%	胃 13.5%	胃 16.0%	胃 18.0%
健やかな心とからだで、いきいきとした生活を送る	年1回健康相談、検尿骨密度、血圧測定	大腸がん 26.3%	大 27.0%	大 29.0%	大 31.0%
		歯周疾患 14.2%	歯 15.0%	歯 17.0%	歯 19.0%
健やかな心とからだで、いきいきとした生活を送る	センターでの健康相談（保健師相談）	回覧周知、9か所で開催、20名前後参加	受診など声かけの推進	➡	➡
		第2・第4金曜9:30~11:30	受診など声かけの推進	➡	➡
良い生活習慣を身につけ、家族や地域とのつながりを大切にする	料理教室 食生活改善中心に実施	一般4回、親子2回、男性1回、弁当1回	若い世代と交流。郷土料理も	食育実施	➡
		第1・第3火曜13:30。参加は約30名	男性に声かけ	➡	➡
良い生活習慣を身につけ、家族や地域とのつながりを大切にする	講師招き健康教室 音楽療法等開催	年4回開催。部会員・愛育班に周知	男性や若い世代にも声かけ	➡	➡
		すくすくクラブ 乳幼児、妊婦等対象	地区の母子に声かけ	➡	➡
良い生活習慣を身につけ、家族や地域とのつながりを大切にする	愛育班活動 親子遊びやおやつ作り、救急講習、ゴキブリ団子作り、クリスマス等	任意加入。26年度会員159名、男性や高齢者も参加。愛育だより発行、声かけ	未入会の子どもも参加できる行事企画、会員増を図る	➡	➡
		健康ポイントカード配布	各事業参加でポイント付与	➡	➡
良い生活習慣を身につけ、家族や地域とのつながりを大切にする	健康ポイントカード配布 人と人とのつながりを大切に健康づくりのきっかけと行事への参加呼びかけ	新規事業	参加意識高め、参加賞プレゼントも	➡	➡



## いきいきした健康体づくりと文化力の向上

### 文化分科会

身近な文化の伝承や生涯学習の支援を通じ、心身共にいきいきとした健康体をつくりながら各種行事に取り組み、地域の活性化を図るとともに、啓発活動を通して人権意識を高めます。

### (1) 脳トレーニングの実践

#### ①現状

- \* 痴呆症予防を目的とした年7回の脳トレ講座を開き、教材の活用方法などを説明し、トレーニングを実践しています。
- \* 参加者は教材を持ち帰り、それぞれの家庭で日々繰り返し脳トレーニングをしています。



脳トレーニング

#### ②今後の取り組み

- \* 脳トレ講座を継続開催します。
- \* 50名前後の参加人数を維持するため、引き続き幅広く参加を要請します。
- \* 教材をより効果的な内容とするため、研究を進めていきます。

### (2) 地域いきいき講座

#### ①現状

- \* 健康づくり、環境対策、高齢者福祉、災害防止、防犯対策など毎日の生活に関わる問題をテーマに、年間3回、講師を招いた講演会を開き、参加者は各テーマについて理解し、生活に役立てています。

#### ②今後の取り組み

- \* 多くの参加者を得られるよう、幅広く参加要請を行い継続していきます。

### (3) まち歩き

#### ①現状

- \* 年1回、各地に伝わる歴史的な文化財や伝承文化などを訪ね、触れ合うことで新たな発見と理解を深めています。地域を歩きながら貴重な文化財や伝承文化に触れることで、参加者それぞれの文化力を高め、それを守り伝えていくことを実践しています。



まち歩き 1

#### ②今後の取り組み

- \* まち歩きの対象を事前に調査・研究、広く参加を呼びかけ、歩く範囲を拡大しながら継続していきます。

### 【文化分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）			
		現状	27年度	28・29年度	30・31年度
心身共にいきいきとした健康体を作り、地域いきいきに取り組む	脳トレーニング	脳トレ講座を年7回開催	参加者を増やしながら継続	➔	➔
	地域いきいき講座	生活に身近なテーマで年3回の講演会を開催	➔	➔	➔
	まち歩き	年1回、文化財や史跡を訪ね、文化力を向上	まち歩き対象地域を調査・研究し継続	対象地域を拡大しながら継続	➔



まち歩き 2



いきいき講座



## 情報社会に沿った地域の人々への伝達

### 広報分科会

広報紙「ともしび」を中心とした地域情報の発信を最重点課題とし、地域の各種行事、情報、幅広いコミュニティ活動の状況などについて広報紙やホームページなどで広く周知し、地域社会に対して魅力ある、活力のある“まちづくり”の取り組みを紹介しています。

### (1) 広報紙「ともしび」の発行

#### ①現状

\* 「ともしび」を年4回発行。

#### ②今後の取り組み

- \* 「ともしび」を季刊の年4回に加え、年1回の増刊号発行を検討します。
- \* 「ともしび」紙面のオールカラー化をめざします
- \* 地域行事などでお世話になっている事業所にも「ともしび」を配布します。



パソコンで「ともしび」の原稿を入力する広報部会員

### (2) ホームページの発信

#### ①現状維持とします。



ホームページ

### (3) CVC中讃ケーブルビジョンへの情報提供

#### ①現状維持とします。

これからも地域に根ざした情報や親しみやすい身近な話題を中心にした記事作りで、地域の皆さんに「ともしび」が待ち遠しく感じてもらえるような楽しい紙面をめざして努力して参ります。

### 【広報分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）			
		現 状	27年度	28・29年度	30・31年度
情報社会に沿った地域の人々への伝達	広報紙「ともしび」の発行	年4回発行	年4回発行	年4回に加え増刊号を1回発行	➔
	ホームページでの発信 中讃ケーブルビジョン(CVC)への情報提供	随時発信	➔	➔	➔



広報紙「ともしび」



広報紙「ともしび」第78号



## 運動やスポーツで育む「豊かな心」と「元気な身体」

### 体育分科会

地域住民が健康でいきいきと活力あふれるまちづくりを目指し、簡単なルールで手軽に楽しむことができるニュースポーツや、健康づくりを目的としたウォーキング、ラジオ体操、自然に親しむ野外活動、レクリエーション活動などを幅広く取り入れ、「生活の質の向上」「健康・体力づくり」「美容・リフレッシュ」「生きがい(充実感など自己実現)」「青少年健全育成」「絆(きずな)」「仲間づくり」「まちや地域の魅力と活力の創出」——などを推進していきます。

### あなたらしく、わたしらしく、生涯スポーツを!!



室内ペタンク大会

#### ①現状

\* 第一次まちづくり計画の期間は、新東汐入公園や城北小学校運動場の整備工事などにより、屋外での会場や種目などで制約があり、体育部会としての活動は十分にできませんでした。

\* 「運動で人が輝く文化都市事業」として、健康ウォーキングやラジオ体操、家族ハイキングなどを実施し、ペタンクをはじめとした多くのニュースポーツ体験に取り組んでいきます。

#### ②今後の取り組み

\* ウォーキング：にこにこウォーキングや新春ウォーキングのほか、親子三

代そろっての健康ウォーキングを実施します。

\* ハイキング：親子三代に参加を呼び掛け、桜の季節に家族そろってのハイキングを企画します。

\* ラジオ体操：夏休み中に子どもたちの健全育成と地域の絆づくりを目的に行います。

\* ペタンク大会：室内・屋外で高齢者の生きがいづくりの一環として取り組んでいきます。

\* ソフトバレーボール大会：子育て世代のお母さんたちの体力づくりと美容、リフレッシュのため、多くの参加を呼びかけ、大会を企画・運営します。

\* グラウンドゴルフ大会：三世代交流の青少年健全育成や仲間づくりを目的に開催します。

\* 各種ニュースポーツの普及活動：簡単なルールで年代を問わず、手軽に楽しめるニュースポーツを通じて、幅広い世代の仲間づくりや健康維持を図る活動を推進します。



グラウンドゴルフ

### 【体育分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	現 状	目標（具体的施策）		
			27年度	28・29年度	30・31年度
運動やスポーツで育む「豊かな心」と「元気な身体」	ウォーキング	にこにこウォーキング 新春ウォーキング	→	にこにこ初日の出を迎える会	→
	ハイキング	桜の花見 家族ハイキング	→	→	→
	ラジオ体操	夏休み2回実施	→	→	→
	ペタンク大会	屋外・室内ともに実施	→	→	→
	ソフトバレーボール大会	ママさん大会で実施	→	→	→
	グラウンドゴルフ大会	普及講習会実施	地域内大会を実施	→	→
	ニュースポーツ普及活動	用具を確保中	普及講習実施	地域内大会実施	→



家族ハイキング



## 地域住民の災害に対する「危機意識」の高揚

### 危機管理分科会

近い将来、発生が予想される「巨大地震」や「大型台風」による高潮・竜巻・豪雨、土器川の氾濫、爆弾低気圧による短時間の激しい降雨と家屋の浸水などを想定する必要があります。災害は自分たちが住む地域や町、場所によって被害状況は異なります。「自分の安全(命)は自分で守る」を念頭に、皆さんが高い危機意識を持ち、住民主導による防災・減災・避難策を考え、現実を意識した訓練に取り組むよう訴えていきます。

### (1) 減災・防災対策への対応

#### ①現状

- \* 自宅の耐震化や家具の固定化による転倒防止などを検討する必要があります。
- \* 各地域ごとのハザードマップはすべて未作成の状態です。全地域の調査・マップの作成は今後の課題です。
- \* 各地域の防災倉庫は確保が十分とはいえません。

#### ②今後の取り組み

- \* 耐震診断も含めた自治会単位で住居内の防災対策をさらに推進していきます。
- \* 各地域のハザードマップを地域住民で調査・作成します。
- \* 城北小学校に併設される備蓄倉庫を城北地区の防災倉庫として位置づけ、住民への周知を徹底します。



防災会議

### (2) 災害対策本部となる自主防災組織の確立



避難訓練

#### ①現状

- \* 既存の自主防災組織で、実際の災害発生時に十分な対応ができるかどうか。

#### ②今後の取り組み

- \* 実際の災害発生時に効果的な動きができる人材を育成します。
- \* 自主防災組織のメンバーが中心となり、短時間で災害対策本部を開設できるよう訓練を重ねます。

### (3) 避難態勢の確認と周知、住民主導の避難訓練の実施

#### ①現状

- \* 災害発生時、最も近く安全な避難場所をお互いに確認できていません。
- \* 最初の避難場所はどこか、初動の責任者(リーダー)はだれかなど、災害発生時の人員配置など城北地区すべての地域で避難体制を決めます。

#### ②今後の取り組み

- \* 訓練を重ねることで、住民一人ひとりが自分の家に最も近い安全な避難場所を把握していきます。
- \* 各避難場所のリーダーを選び、日頃から災害発生時の対応力を養成します。

### (4) 災害時の要援護者への対応

#### ①現状

- \* 現時点で、要援護者の氏名や住所などは把握できていますが、だれが対応するのか、どこに避難させるのかなど、具体的に決まっています。

#### ②今後の取り組み

- \* 民生委員児童委員、福祉ママ、福祉協力員らに協力を要請し、緊急避難態勢の確立に取り組めます。

### 【危機管理分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標(具体的施策)			
		現状	27年度	28・29年度	30・31年度
地域住民の災害に対する「危機意識」の高揚	減災・防災対策	ほとんど対策はとれていない	「自分の安全は自分で守る」の徹底と防災倉庫設置	耐震診断や住居の防災対策ハザードマップの作成、住民主導の防災訓練	➔
	自主防災組織確立	現時点では、発生時は組織に機能しない	機能的・実働的に動ける人材で組織する	組織見直しと実効ある訓練の実施	➔
	避難態勢と連絡網の確立	地域により意識の差が大きい	リーダーの人選と養成	住民主導の避難策と緊急連絡網の作成	➔
	災害発生時の要援護者対策	援護対象者の把握はできている	民生委員児童委員、福祉ママ、福祉協力員への協力要請など援護体制の確立	➔	➔



## 婦人の和と輪を大切に 地域の活性化を図る

### 城北 婦人会

温かい思いやりのある和のころをもつて奉仕活動や研修活動を実施するなかで、会員どうしの絆を深め、人々の輪をひろげ明るく住みよい地域づくりをめざしていきます。

#### ①現状

- \* 会員は任意加入で、現在は220名余りで構成しています。
- \* 活動は、日赤社資募集や敬老会開催、親睦旅行実施、新年会、手芸教室開催に加え、平成24年度からは「しゃんと体操」を毎月第1火曜日に実施しています。
- \* 婦人防火クラブにも取り組んでおり、春と秋に防火宣伝活動などを行っています。
- \* 会員の高齢化と会員数の減少の問題点はありますが、会員の相互連携は良好です。

#### ②今後の取り組み

- \* 若い世代の人たちへの加入を促進します。
- \* 「しゃんと体操」を継続します。
- \* 日赤奉仕団活動（社資募集・研修）に取り組めます。
- \* 婦人防火クラブ活動（防火運動・火災報知器設置推進）を行います。
- \* 愛育班や食生活改善推進協議会と連携し、地域住民の和と輪を保ちます。



敬老会



## 成熟する高齢化社会を支える地域活動

### 城北 老人クラブ 連合会

高齢化社会が成熟する中で、地域を支える一つの柱は老人クラブ活動ではないでしょうか。実際に老人クラブ活動は、生きがいつくり、健康づくり、仲間づくりに役立っており、安心して暮らせる地域社会の心強い支えになっています。その意味でも老人クラブ活動のさらなる広がりが期待されています。残念ながら、老人クラブに入って活動されている方は年々、減少傾向にあります。今後、さらに進展する高齢化社会と、地域社会の中で老人クラブの役割はますます重要になると自負しながら、活動に取り組んで参ります。

#### ①現状

- \* クラブ数は11あり、会員数は約580人です。
- \* 5・10月に丸亀城一周の歩け歩け運動や年4回の研修会（県・市・城北）を実施しています。
- \* 「城北老人会クラブ」新聞を年4回発行しています。
- \* 親睦旅行や役員旅行を企画・実施します。
- \* 毎年2月に、友愛で古希・喜寿・傘寿・米寿の方々への慰問を継続します。
- \* スポーツ大会やペタンク大会、囲碁大会を開催しています。



老人会総会



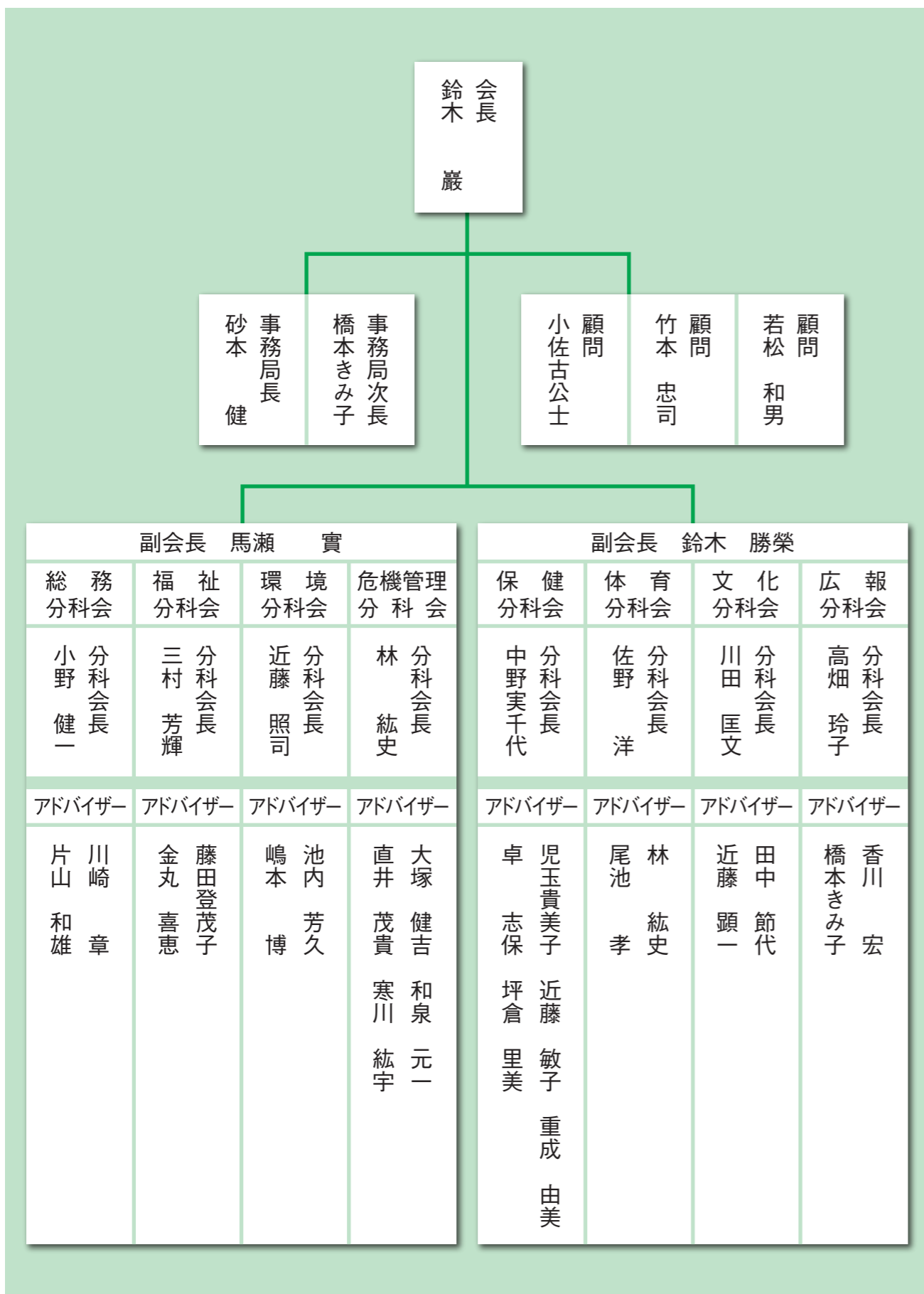
研修会

#### ②今後の取り組み

- \* 全国老人クラブ連合会が5か年計画で、会員の100万人増員を掲げています。城北老人クラブ連合会にも55人が割り当てられており、第二次まちづくり期間中に、会員の増員に努力して参ります。



### 城北地区まちづくり計画Ⅱ策定委員会組織図



### 城北地区まちづくり計画Ⅱ策定委員会担当者

氏名	役職名
鈴木 巖	会長(コミュニティ会長)
馬瀬 實	副会長(コミュニティ副会長)
鈴木 勝榮	副会長(コミュニティ副会長)
砂本 健	事務局長(コミュニティ事務局長)
橋本きみ子	事務局次長(コミュニティ広報部)
小佐古公士	顧問(元市教育長)
竹本 忠司	顧問(市教育部長)
若松 和男	顧問(アドバイザー)
小野 健一	委員(コミュニティ総務部長(市議会議員))
寒川 紘宇	委員(コミュニティ環境部)
塩田 文江	委員(コミュニティ総務部)
山田 登	委員(コミュニティ総務部)
津治 義秀	委員(コミュニティ監査)
佐野ルイ子	委員(コミュニティ総務部)
川崎 章	委員(コミュニティ総務部)
大塚 健吉	委員(コミュニティ総務部)
尾松 静子	委員(コミュニティ書記)
片山 和雄	委員(コミュニティ所長)
八十 徹二	委員(北平山北部自治会長)
白井 邦彦	委員(城北小学校長)
三村 芳輝	委員(コミュニティ福祉部長(民児会長))
藤田登茂子	委員(老人会会長)
池内 芳久	委員(コミュニティ福祉部)
松原 繁	委員(コミュニティ福祉部)
詫間健太郎	委員(市教育委員)
丸岡 勇	委員(コミュニティ福祉部)
栗谷 葉子	委員(コミュニティ福祉部)
武上サチ子	委員(コミュニティ福祉部(福祉ママ会長))
香川 高子	委員(コミュニティ福祉部)
近藤 照司	委員(コミュニティ環境部長)
嶋本 博	委員(コミュニティ環境部(分団長))
門田 勝子	委員(コミュニティ環境部)
国井 洋臣	委員(コミュニティ環境部)
小山 安造	委員(コミュニティ環境部)
鈴木すみ子	委員(コミュニティ環境部)
鈴木 洋子	委員(コミュニティ環境部)
高尾 芳三	委員(コミュニティ環境部)
中野実千代	委員(コミュニティ保健部長(愛育班))
山地 英子	委員(コミュニティ保健部(愛育班))

氏名	役職名
中野 裕子	委員(コミュニティ保健部(愛育班))
宮川恵美子	委員(コミュニティ保健部(愛育班))
多岡 秀子	委員(コミュニティ保健部(愛育班))
金丸 喜恵	委員(コミュニティ保健部(愛育班)幼P会長)
塚本 知江	委員(コミュニティ愛育班(小・中P))
岡本 京子	委員(コミュニティ愛育班(小・中P))
秋山 祥子	委員(コミュニティ愛育班(小P))
児玉貴美子	委員(土居保育所長)
近藤 敏子	委員(平山保育所長)
重成 由美	委員(城北幼稚園長)
卓 志保	委員(保健師)
坪倉 里美	委員(保健師)
川田 匡文	委員(コミュニティ文化部長(市議会議員))
亀井 貫	委員(城北小学校PTA会長)
近藤 顕一	委員(コミュニティ文化部)
竹田 敏隆	委員(コミュニティ文化部)
田中 節代	委員(コミュニティ文化部)
直井 茂貴	委員(丸亀市PTA連絡協議会会長)
松村 功久	委員(コミュニティ文化部)
山下 恵子	委員(コミュニティ文化部)
横山 純一	委員(コミュニティ文化部)
渡辺 昭	委員(コミュニティ文化部)
高畑 玲子	委員(コミュニティ広報部長)
香川 宏	委員(コミュニティ広報部)
菅 ひろみ	委員(コミュニティ広報部)
高木 明美	委員(コミュニティ広報・保健部(愛育班))
竹田 早苗	委員(コミュニティ広報部)
若松 幸代	委員(コミュニティ広報部)
佐野 洋	委員(コミュニティ体育部長)
林 紘史	委員(コミュニティ会計)
尾池 孝	委員(コミュニティ体育部)
和泉 元一	委員(コミュニティ体育部)
河原美智子	委員(コミュニティ体育部)
福岡一二美	委員(コミュニティ体育部)
宮武 正樹	委員(コミュニティ体育部)
松井 功	委員(北平山町自治会)
福崎 伸一	委員(コミュニティ環境部)
丸岡 肇	委員(風袋町自治会)
三谷 正英	委員(土居町北部自治会)

コミュニティ  
「明倫の里 城北」  
構成団体

城北地区連合自治会	城北地区保護司
城北婦人会	城北校区子ども会連絡協議会
城北老人クラブ連合会	スポーツ少年団
城北地区民生委員児童委員協議会	丸亀市立東中学校
城北地区福祉ママ会議	丸亀市立城北小学校
丸亀市体育協会城北支部	丸亀市立城北幼稚園
丸亀交通安全協会城北支部	丸亀市立平山保育所
城北愛育班	丸亀市立土居保育所
城北地区社会福祉協議会	丸亀市立城北小学校PTA
丸亀市消防団第一分団	丸亀市立城北幼稚園PTA
丸亀市更生保護女性会	丸亀市立平山保育所保護者会
母子保健推進委員	丸亀市立土居保育所保護者会
食生活改善推進協議会	丸亀署土器交番・駅前交番
丸亀市漁業協同組合	城北コミュニティセンター

(順不同)



# 明倫の里

# 城北

## 城北地区

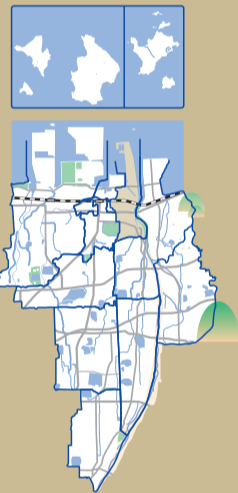
■城北コミュニティセンター明倫  
〒763-0014  
丸亀市御供所町一丁目5番20号  
電話 (0877) 25-2141

■人口 6,715人  
■世帯数 3,315世帯  
[平成27年1月1日現在]

- 富士見町一〜五丁目
- 土居町一〜三丁目
- 風袋町
- 瓦町
- 葭町
- 米屋町
- 松屋町
- 魚屋町
- 宗古町
- 城東町一〜三丁目
- 御供所町一〜二丁目
- 北平山町一〜二丁目
- 大手町一丁目

城北の名称は、明治5年に小学校の先駆けとなる丸亀郷校が開かれ、その後、明治34年、城北と城西の二校に分割され、本校を城北尋常小学校と改称されたのが始まりです。丸亀城の北方向にあることから、この名がついたようです。なお、城北小学校は藩政時代(1797年頃)に「明倫館」と呼ばれ、それ以来、丸亀における学問の拠点として引き継がれてきたことに由来して、コミュニティセンターの名に明倫がつけました。

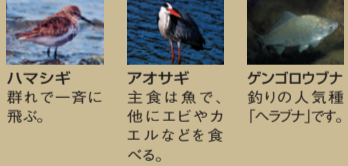
城北地区内の見所としては、東汐入川緑道公園や妙見神社の秋祭り・北平山町の旧寺町界わい(杜寺景観)などがあります。



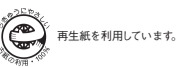
### 城北地区のビオトープ、土器川河口。

もっと、増やそうね！  
ビオトープとは、いろんな生きものがくらせるところ。

### 土器川河口の生きものたちを探してみよう！



ハマシギ 群れで一斉に飛ぶ。  
アオサギ 主食は魚で、他にエビやカエルなどを食べる。  
ゲンゴロウナ 釣りの人気種「レバナ」です。  
スズキ 出世魚のひとつで、30cmまでセイゴ、60cmまでハネ、60cm以上スズキと呼び名が変わる。  
ガマ 池沼に生える多年草。



### ちょっと見たいもの

- 1 カモメ・カモ・ウミネコ等の渡り鳥が来ます(土器川河口付近)
- 2 大きなクスノキ 高さ15m 幹回り2.5m(丸亀競艇場入口)
- 3 大きなクスノキ(産樂日神社)
- 4 緑が多く、季節を通じていろいろな花が植えられます(東汐入川緑道公園)
- 5 トンボ・チョウ・メダカ・小鳥等が見られます(平山公園の南西)
- 6 トンボ・小鳥等が見られます(土居橋の北側)
- 7 クスノキ(真光寺)
- 8 イチョウの木(威徳寺)
- 9 スドウツゲ・ボックスウッド・クスノキなど歩道の植込み(丸亀競艇場前の道路)
- 10 防風林 マツ(富士見町緑地)
- 11 ハボタン・パンジー・チューリップが咲いています(コミュニティふれあい花だん)

### ちょっと行きたいところ

- 1 清水神社
- 2 富士見児童公園
- 3 競艇場北側の堤防
- 4 東汐入川緑道公園



1 カモメ・カモ・ウミネコ等の渡り鳥が来る場所(土器川河口付近)



2 富士見児童公園



4 東汐入川緑道公園  
6月頃には、おいしいサクランボがなるよ。



11 コミュニティふれあい花だん  
葉ボタン・パンジー・チューリップが咲いているよ。



1 清水神社  
文政元年(1818)に祀られたと伝えられています。清水大明神を祀った社が、土器川の氾濫で流されてしまいました。その同じ年に庄屋が神のお告げを夢に見て、その地点を掘ったところ、めずらしい石が出てきました。村民は大いに喜んで、これを祀り清水大明神として崇敬しました。神社のそばにある清水は、神功皇后ゆかりの泉とされ、この湧き水を神として祀ったとされています。

### 城北イラストマーク対応表 (地図中のイラストはそれぞれ下記のもの表しています。)

	木全般		イチョウ		カモなど		ウミネコ・カモメなど		メダカ		植込みなど		講堂が美しく見えるなど眺めの良い場所		神社		工場		丸亀コミュニティバス(くるっと)停留所
	花全般		小鳥		サギ・キジなど		魚全般		虫全般(バッタ・スズムシ・コオロギ・セミ)		公園・遊び場		散歩道・トレーニングコースなど		寺		町並み		

街路樹 くるっとの経路 犬のフンの後始末を！ 車に気をつけて！